

2021年6月8日

新型コロナワクチン向けプラスミド DNA の製造を受託

—ワクチンの原料製造を担い、感染拡大の抑止や流行の終息に貢献—

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）のバイオ医薬品CDMO^{*1} 事業子会社であるAGC Biologics（本社：米国）は、BioNTech社（Nasdaq上場）から、Pfizer-BioNTech COVID-19 ワクチン^{*2} の原材料であるプラスミドDNA^{*3} の製造を受託しました。本件は、AGC Biologics社のハイデルベルグ工場（ドイツ）での製造を予定しています。

今回AGC Biologics社が受注したプラスミドDNAは、BioNTech社のmRNA型のワクチン^{*4} の原材料となります。Pfizer-BioNTech COVID-19 ワクチンは、日本を含む多くの国で特例承認され、接種が進んでおります。

AGC Biologicsは、日本・米国・欧州に製造拠点を有し、プロセス開発、スケールアップ、治験段階から商用医薬品原薬の製造に至るまで、様々な高付加価値サービスを提供しています。今般同社の数十年にわたるCDMOの実績、およびグローバルで統一された高水準の品質・サービス力を評価され、新型コロナワクチン向けのプラスミドDNAの製造パートナーとして選定されました。

AGCグループは、製薬会社の新型コロナウィルス感染症向けのワクチンや治療薬の原薬・原材料製造を担い、新型コロナウィルスの感染拡大の抑止や流行の終息に貢献していきます。

<注釈>

- *1 CDMO (Contract Development & Manufacturing Organization): 製造受託に加え、製造方法の開発を受託・代行する会社。
- *2 BioNTech社が所有するmRNAワクチン技術に基づく本ワクチンは、BioNTech社とファイザー社により共同開発されました。BioNTech社は、EUにおける製造販売承認、ならびに米国（ファイザー社と共同）、英国、カナダ等の国において計画している製造販売承認申請に先立つ緊急使用許可または同等の許可等を有します。
- *3 プラスミドDNA: 目的遺伝子を細胞内に運ぶために使用されるDNA。mRNA製造にも用いられる。
- *4 mRNAワクチン: ウイルスの一部のタンパク質の設計図となるmRNAを投与することにより免疫を誘導させるワクチン。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。